

文化芸術振興議員連盟×文化芸術推進フォーラム あゆみ



- 1 歌手の霧島昇氏と共に歌う初代会長・前尾繁三郎氏(1981年第3回総会)
- 2 2代会長・櫻内義雄氏(1992年総会)
- 3 3代会長・橋本龍太郎氏(2001年「芸術文化のタベ」)
- 4 2002年 文化芸術振興基本法成立を祝うタベ
- 5 2002年 文化芸術振興基本法推進フォーラム発足
- 6 野村萬・文化芸術推進フォーラム議長(2011年「文化芸術振興基本法制定10周年記念シンポジウム」)
- 7 4代会長・柳澤伯夫氏(2007年「音楽議員連盟30周年を祝う会」)
- 8 5代会長・中野寛成氏(2012年議連総会／文化芸術推進フォーラムから国会講義を提出)
- 9 6代会長・河村建夫氏(2018年「文化芸術省」創設を政府に提言)

入場税撤廃に向けて

- 1974 舞台入場税対策連絡会議が入場税撤廃を求め156万筆の請願署名提出。
- 1977 文化政策等について、立法院、行政府の抜本的な意識改革を目指し、超党派の衆参国會議員36名を会員に音楽議員連盟(音議連)結成。初代会長に前尾繁三郎、事務局長に青木正久就任。
- 1982 音議連二代目会長に櫻内義雄就任。
- 1984 舞台入場税対策連絡会議が入場税撤廃を求め156万筆の請願署名提出。
- 1985 「入場税免税点を5000円に引上げ」実現。
- 1986 音議連第8回総会開催。音楽・俳優・舞踊・演芸などの団体の他著作権・著作隣接権団体の賛同を得て、55団体で「音楽議員連盟推進法」発足。
- 1987 音議連創設10周年。会員数61名。

文化政策の充実に向けて

- 1983 「商業用レコードの公衆への貸与に関する著作権者等の権利に関する暫定措置法(貸レコード暫定措置法)」が議員立法で成立。
- 1985 著作権法の一部が改正され、貸与権創設(貸レコード暫定措置法廃止)。
- 1988 「芸術振興基金(仮称)設立に向けてのプロジェクト報告書を受け検討開始。
- 1990 国立劇場法を改正し日本芸術文化振興会法が成立。芸術活動への助成を行う「芸術文化振興基金」設立。
- 1991 音議連に「芸術家の地位に関するユネスコ小委員会」を設置し、検討開始。
- 1992 著作権法の一部が改正され、私的録音録画補償金制度創設。
- 1993 音議連に「子どもの芸術文化振興に関する小委員会」設置。
- 1994 音議連第15回総会。「音楽教育振興」のシンポジウム開催。
- 1995 音楽CD再販問題を音議連総会で特別決議。
- 1997 音議連事務局局長に斉藤斗志二就任。
- 1998 CD等再販維持決定。
- 1999 音議連役員会で「著作権に係る小委員会」発足。著作権法附則14条撤廃等の方針確認。

文化行政に基礎的基盤を

- 2000 音議連三代目会長に橋本龍太郎就任。
- 2001 音議連第25回総会。「芸術文化基本法」(仮称)創設特別委員会を設置。
- 2002 文化芸術振興基本法推進フォーラムが文化芸術推進フォーラムに改称。法人に関わる芸能報酬等の源泉徴収制度廃止。
- 2003 文化芸術11団体が「文化芸術振興基本法推進フォーラム」発足。「文化芸術振興基本法成立を祝うタベ」開催。著作権法の一部が改正され、表演家人格権付与、表演及びレコードに関する世界的所有権機関条約加入。芸術文化基本法創設を目指す「芸術文化のタベ」開催。「文化芸術振興基本法」が議員立法で成立。
- 2002～2006 文化庁と協力し、基本法の理念の浸透と文化政策拡充の活動を全国展開。

基本法の理念の浸透と文化政策拡充の活動を全国展開

- 2006 「文化芸術立国に向けて文化関連予算の大幅な増額等を求める請願」署名約60万筆を文化芸術推進フォーラムより預かり、国会へ提出。音議連幹事長に横光克彦就任。フォーラム「文化芸術を国の政策の基盤に」開催。
- 2007 音議連五代目会長に中野寛成、事務局長に梁瀬進就任。会員数70名。シンポジウム「文化芸術による人づくり、社会づくり、国づくり」開催。
- 2008 劇場をめぐる特別シンポジウム開催。
- 2009 新たな公益法人税制実現等をテーマに連続セミナー開催。文化芸術立国の実現に向けて、フォーラム「伝統文化の継承と新たな創造」と音議連30周年を祝う会開催。会員数75名。法人税非課税、寄附金優遇制度等の拡充した新公益法人税制が実現。
- 2010 音議連四代会長に柳澤伯夫就任。会員数81名。音議連振興会議が解散し、同会議の役割を文化芸術推進フォーラム(構成14団体)が引き継ぐ。

文化芸術省創設に向けて

- 2011 議連で映像問題研究会発足。
- 2012 シンポジウム「映画の振興を国家文化戦略に」「五輪の年には文化省」及び著作権をテーマにしたフォーラム開催。視聴覚的実演に関する北京条約加入。
- 2013 音議連六代会長に河村建夫、事務局長に伊藤信太郎就任。規約を改正し、文化省創設と文化予算増額を目標に掲げ、文化芸術振興議員連盟に名称変更。シンポジウム「文化省の創設を考える」開催。
- 2014 文化芸術振興基本法見直し着手。「五輪の年には文化省」を掲げ、「宣言と公演」文化芸術の力をすべての人々に、「東京・札幌オリンピック映画上映会」、「アーティストによる新作オークション」実施。
- 2015 シンポジウム「表演芸術、劇場、映画の創造基盤をつくる」、「文化省創設への道筋」開催。
- 2016 「文化芸術振興議員連盟創設40年、文化芸術推進フォーラム創設15周年記念祝賀会開催。会員数117名。「文化芸術基本法」が議員立法で成立。
- 2017 「文化省創設に向けての勉強会開催。「文化芸術省」の創設を政府に提言。
- 2018 「文部科学省設置法の一部を改正する法律案」審議過程において、「文化省創設」に関する附帯決議を衆参両院で史上初の採択。

